

平成 29年 12月 8日

二宮町長
村田 邦子 様

二宮町総合戦略評価委員会
会 長 後 藤 伸



二宮町総合戦略政策評価に係る意見書の提出について

このたび、「二宮町総合戦略」の総合戦略政策評価に対し、二宮町総合戦略評価委員会としての意見を「総合戦略政策評価シート」のとおり、とりまとめました。

また、とりまとめに際し、本委員会において、さまざまな意見交換が行われましたので、「二宮町総合戦略政策評価について（意見）」として、別添のとおり、提出します。

ご一読のうえ、今後の「二宮町総合戦略」の推進に活用くださいますよう、お願い申し上げます。

二宮町総合戦略評価について（意見）

「二宮町総合戦略」に掲げる4つの基本目標について、各委員の経験や知見を活かし、町民としての視点、また第三者としての視点から、客観的及び具体的に、今後の「二宮町総合戦略」の推進に有効なものとなるよう、議論を進めてきました。

今回、4本の基本目標について、行政内部における進行管理の妥当性を評価したところ、3本の基本目標について内部評価との相違がありました。しかし、今後の取り組みをより一層、効果的・効率的なものとしていくための評価であるという観点では同じであることから、町は各委員から出された意見を参酌し、今後の地方創生の推進に役立てていただきたいと思えます。

数値目標及びK P Iの達成状況については、すでに実績値が目標値を上回っているものがあり、施策を推進した結果が数値に表れているものと考えますが、一方で、進捗に遅れが生じているものや町民満足度が基準値より低下している施策もありました。今後は、実績値の把握だけでなく、その増減の要因を分析し、活かすべき点あるいは改善すべき点を明確にした上で、さらなる向上を目指して取り組むことを期待します。

数値目標やK P Iの目標値については、昨年度の本委員会での意見を踏まえ、目標値が数値化されたことにより、進捗状況や達成度合いが把握しやすくなりました。一方で、一部、基本目標の達成状況を測る指標として、あるいは、基本目標の達成に向け講ずべき施策の効果を検証するものとして、適切とはいえないものがありました。妥当性に疑義があるものについては、その理由等を分析し、根拠を明確にした上で、見直すべきか否かを判断する必要があります。

併せて、この評価システムについて、多くの関係者が理解し、納得し、その後の取り組みに繋がる結果を導き出すため、評価の仕組み自体にP D C Aサイクルを取り入れ、継続的に見直しを図ることが必要です。

「二宮町総合戦略」は今年度で3年目を迎え、成果が問われる段階に入りました。一朝一夕に大きな成果が出るものではないものの、現状を鑑みると、取り組みの加速化は不可欠です。そのために、町は庁内組織の横の連携の強化とともに、積極的に地域の人と組織を巻き込み、地域力を最大限活用し、町一丸となって、取り組みを推進することが必要です。

最後に、この意見書が「二宮町人口ビジョン」の実現に寄与するとともに、町民の負託に応える町政の実現の一助となることを期待します。

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
基本的方向	<p>大きな雇用を産む産業や、著名な観光地を持たないこの町の最大の財産は人であり、人と人の繋がりでであることを再確認し、そこから生まれる、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを、二宮町総合戦略の第1の基本目標とします。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するためには、出生率の向上と子育て家庭の定住促進が不可欠となりますが、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域とは、子育てがしやすい地域であるとともに、誰もが健康でいきいきと生活することができ、安心して住み続けられる地域であることも必要になります。</p> <p>この二宮町総合戦略を機に、改めて地域コミュニティを見直し、子どもも大人も、誰もがいつでも気軽に地域との繋がりを持てるような取り組みや、多世代の交流を促進するとともに、町民生活を支える公共施設のマネジメント、防災・防犯のまちづくりを推進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
住み続けたいと思う町民の割合	76.5%	80.5%			79.5%	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」を達成するために設定した4つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域を実現するためには、町民の地域活動への参加やコミュニティづくりへの意識を高め、多様な主体が連携、協力することにより、地域の繋がりを支え合いを深め、変化する町民ニーズや地域課題の解決、さらには町全体の力の底上げを図る必要がある。併せて、公共施設の今後のあり方については、人づくり、地域づくりに資する拠点としての視点からの検討も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、従来施策の縦割りの弊害を解消し、部局横断的に、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>本格的な人口減少・少子高齢化社会が到来する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、行政からの一方通行の取り組みではなく、地域包括ケアシステムの構築に象徴されるような町民をはじめ多様な主体と行政が協力・連携することがより一層求められている。</p> <p>そのために、町は、地域の多様な主体が町民活動に参加した成果を実感できる仕組みを構築するとともに、公共施設の再配置や町有地の有効活用をはじめ、各計画等の進捗状況を積極的に情報提供した上で、ともに考え、行動することが重要である。</p> <p>なお、KPIの目標値については、今後の事業推進や評価を左右するものであることから、KPI「健康寿命(国保データベース)」及び「地区防災マニュアルの策定」については、町の実情や先々の計画等の明確な根拠の上に設定が行われることが望ましい。併せて、その目指すべき方向に向け、目標値にとらわれることなく、積極的な推進に努めることが期待される。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
基本的方向	<p>二宮町人口ビジョンを実現するためには町外への転出を抑制するとともに、子育て家庭を中心とした転入を促進する等、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出することが求められます。</p> <p>より多くの人々に「住んで良かった」と実感してもらうため、子育て家庭をはじめ、町内外問わず幅広い人々に対し、町の良さを活かした新しい暮らし方を提案・発信するとともに、定住希望者の希望を叶える環境をつくることを、二宮町総合戦略の第2の基本目標とします。</p> <p>そのため、町の自然・教育・文化・観光等を活かした特色ある取り組みを推進し、効果的なプロモーションを行います。</p> <p>定住促進のためには定住希望者のニーズに対応する住宅供給が求められます。そのため、空き家等の既存ストックを有効活用した定住支援を行います。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町の人口	28,479人	28,271人			27,168人以上	
二宮町の社会移動数	転出超過 213人	転出超過 43人			転出超過 58人以下	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」を達成するために設定した3つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>この町で新たな「人の流れ」を創出するためには、若者や地域外の第三者等、新たな視点や感性を積極的に取り込むとともに、地域の良さを理解し、愛着を持った次世代の地域づくりの担い手となる人材を育成する必要がある。併せて、町で取り組んでいる各種移住・定住支援メニューをニーズに合わせて見直し、利用を促進することで、移住・定住人口そのものの増加に繋げるとともに、移住・定住者が新たな移住・定住者を呼ぶ好循環を作り出すことも不可欠である。</p> <p>そのため、今後、施策の効果的・効率的な展開に向け、官民連携をより一層深め、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調ではあるが、日本全体が人口減少社会に突入り、都市間競争が顕在化する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、町の魅力とともに、認知度及びイメージのさらなる向上と、それを支える効果的な情報発信が不可欠である。</p> <p>そのために、行政主体の情報発信に加えて、町の魅力を伝える個人や団体の情報発信と有機的に連携するとともに、KPI「「にのみやLife」PRホームページの閲覧数」が目標値を大幅に上回った要因を分析し、今後の取り組みに活かすべきである。町の魅力の向上にあたっては、子どもたちの成長を地域と連携・協働して支えることで、町への愛着や誇りを育み、次世代の地域を担う人材育成に繋げることが重要である。さらに、生涯学習センターラディアンや図書館を、従来の手法にとらわれないことなく、交流拠点や学びの場としての機能やイベント等を充実させ、抜本的に見直すことで、町民相互の交流促進や交流人口の増加、さらには移住・定住等、文化芸術を起点とした地方創生の実現が期待される。</p> <p>なお、数値目標「二宮町の社会移動数」は、その目標値が社会移動数を抑制しているとはいえ転出超過となっていることから、その要因を分析した上で、転入超過もしくは増減なしに見直すべきと考える。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、より多くの人々に「住んで良かった」を実感してもらえることに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
基本的方向	<p>町では、これまで妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援の充実・強化に向けた様々な取り組みを進めてきました。しかしながら、子育て家庭が抱える様々なニーズに対応するためには、行政サービスだけでは限界があります。父親の育児参加しやすい環境づくりや民間サービスの導入促進、地域ぐるみでの見守り・支え合い等を含め、様々な主体の連携・協力のもとで子育て家庭が安心して妊娠・出産・子育てできる環境を実現することを二宮町総合戦略の第3の目標とします。</p> <p>そのため、まずは子ども・子育てサービスに関する情報発信の強化や民間サービスを含めたサービスの更なる質の向上を目指すとともに、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを活かした、地域ぐるみでの見守り・支えあいの環境づくりを進めます。</p> <p>また、子育て家庭が子育てしやすい環境を整えるため、子どもが安全に遊べる環境づくり、子育て家族が安心して外出できる環境づくりを行います。</p> <p>さらに、子育てと仕事の両立を目指し、長時間労働の改善といった男性の働き方の見直し等を啓発し、子育て中の親が仕事と生活の調和を図ることができ、かつ、多様な働き方ができる環境づくりを行います。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32.0%	41.9%			40.0%	
合計特殊出生率	1.19	-			1.4以上	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」を達成するために設定した2つの施策は、順調に進行している。</p> <p>若い世代が結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境を実現するためには、子どもや各家庭の状況とニーズに寄り添った行政サービスの充実に加え、町民相互の子育て支援活動やネットワークの強化を図り、地域の子育て支援力の強化を図る必要がある。併せて、子育て支援に対する理解と関心を高め、地域全体で子どもや子育て家庭を見守り、応援する機運の醸成も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、行政をはじめ、町民、地域団体等、地域における多様な主体の連携、協力を促進しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。</p> <p>少子高齢化の進展により生産年齢人口が減少する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、地域の実情やニーズに合わせた子育て支援の量的な拡充や質的な向上を図るとともに、子どもを産み育てることを希望する若い世代が経済的安定を得て、この町に定住できるよう、仕事と子育てを両立できる環境づくりが求められている。</p> <p>そのために、従来から複数の部署で個々に行っている子育て家庭への各種支援施策を再点検し、妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対して、包括的・一元的な支援体制を整備し、各段階に応じた支援を連続性をもって行うことが必要である。併せて、引き続きワーク・ライフ・バランスの推進に向け、言葉自体の認知度向上や正しい理解のための普及啓発と並行して、性別を問わず、誰もが意欲に応じてあらゆる分野での活躍を可能とする環境の整備に向け、力強く取り組むことが重要である。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる環境づくりに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性

総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
基本的方向	<p>町が将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能なまちづくりを展開するためには、町内に新たな産業と雇用を生み出し、ヒト・モノ・カネを循環させることによって、町内経済を好転させ、人々が安心して生活を営むことができるまちをつくることが求められています。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するために、きめ細やかな対応によって身近な地域で働きたい人々の希望を叶える起業・雇用環境をつくることで、「誰もが生涯現役」となる環境をつくることを第4の基本目標とします。</p> <p>ベッドタウンである本町にとっては、日常生活に必要な小売業や医療・福祉サービスといった生活に密着した産業の集積が大きな課題です。そのため、既存産業に対する就業支援等を行うとともに、町の資源を活用した新たな産業の可能性についての検討や空き家・空き店舗と創業希望者とのマッチング支援等、新たな取り組み、起業・就業機会の拡大を促進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町民の就業者割合	54.3%	-			56.5%	

総合評価	<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」を達成するために設定した3本の施策のうち、2つは概ね順調に進行しているが、1つは見直しが必要である。</p> <p>安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくるためには、事業者に対し、総合的な支援策を継続するとともに、地域資源を活かし、新たな事業機会を生み出しやすい環境を整備することにより、地域経済全体の持続的な発展を図ることが必要である。併せて、働く意欲のある人の就業や起業を支援することにより、誰もが自分の知識や経験を活かしながら、社会の担い手として活躍できる環境整備も不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、官民連携の一層の強化等、より実効性のある支援とするための見直しを行うとともに、地域特性や地域資源等と地域のニーズとのマッチングを推進することで、この町のポテンシャルを最大限引き出し、それを活用しながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>人口減少社会においても、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、若者や子育て世代が希望を持って働き、暮らせることが重要であることから、地域における新たな雇用の創出や起業しやすい環境の整備が必要である。</p> <p>そのために、町は、既存事業者に対する総合的な支援に加え、地域資源を活用した創業や新規事業の展開、就農者の維持・確保や就農後の生産・経営の安定について、現場の声やニーズを踏まえ、必要に応じて見直した上で、支援策を展開する必要がある。併せて、人が集まり交流する場や機会の創出、自治体の枠を超えた連携の検討等により、この町に関わるさまざまな人や組織を繋ぐことで、多様なイノベーションを生み出し、それが新たな人をこの町に呼び込む原動力となることが期待される。</p> <p>なお、KPI「エネルギー・温暖化対策に関する計画」については、二宮町地球温暖化対策実行計画の区域施策編の策定を先延ばしにするのではなく、目標である31年度までに実現すべく、引き続きその取り組みを強力に進めるべきである。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、誰もが安心して定住し、働ける環境の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性